

第36回(第26回)
社会福祉士・精神保健福祉士
国家試験解答速報
『2024年2月5日現在』

共通科目

【人体】

問題	解答欄
1	2
2	3
3	4
4	2
5	5
6	5
7	1

【心理学理論】

問題	解答欄
8	3
9	4
10	5
11	3
12	4
13	2
14	1

【社会理論】

問題	解答欄
15	3
16	2
17	1
18	4
19	5
20	2
21	1

【現代社会】

問題	解答欄
22	4
23	1

24	2
25	5
26	4
27	4
28	5
29	1
30	3・4
31	5

【地域福祉】

問題	解答欄
32	5
33	3
34	3
35	1
36	2
37	3
38	4
39	2
40	1・3
41	1・3

【福祉行財政】

問題	解答欄
42	5
43	4・5
44	3
45	5
46	1
47	2
48	1

【社会保障】

問題	解答欄
49	2
50	1
51	4
52	3
53	2
54	1

55	5
----	---

【障害者】

問題	解答欄
56	2
57	3
58	1
59	1
60	3
61	4
62	4・5

【低所得者】

問題	解答欄
63	3・5
64	1
65	2
66	5
67	5
68	3
69	4

【保健医療】

問題	解答欄
70	2
71	1
72	1
73	2
74	5
75	3・4
76	3

【権利擁護】

問題	解答欄
77	3・4
78	4
79	2
80	3
81	5
82	3
83	2

この解答は「ふくし合格ネット」の独自見解によるもので、事前の予告なしに変更することがあります。
問題に関するお問合せはお受けしていませんので、予めご了承下さい。

社会福祉士専門科目

【社会調査】

問題	解答欄
84	5
85	4
86	3
87	3・5
88	1
89	4
90	2・3

【相談援助の基盤】

問題	解答欄
91	3
92	4・5
93	5
94	2・4
95	1
96	1・3
97	5

【相談援助の理論】

問題	解答欄
98	3
99	2
100	4
101	5
102	3
103	3
104	1・5
105	4
106	1
107	2
108	3
109	1
110	3
111	5
112	1

113	5
114	1・5
115	1・2
116	3
117	3
118	2

【福祉サービスの組織】

問題	解答欄
119	1・4
120	2
121	5
122	3
123	1・4
124	2
125	1

【高齢者】

問題	解答欄
126	2
127	2
128	3・5
129	4
130	3
131	1
132	5
133	1
134	2・4
135	4

【児童や家庭】

問題	解答欄
136	5
137	1
138	2
139	2
140	4
141	3
142	4

【就労支援サービス】

問題	解答欄
143	5
144	1
145	5
146	4

【更生保護制度】

問題	解答欄
147	2
148	1
149	2
150	4

この解答は「ふくし合格ネット」の独自見解によるもので、事前の予告なしに変更することがあります。
問題に関するお問合せはお受けしていませんので、予めご了承下さい。

精神保健福祉士専門科目**【精神疾患とその治療】**

問題	解答欄
1	1・4
2	4
3	1
4	2
5	3
6	2
7	5
8	2・3
9	4
10	1・2

【精神保健の課題と支援】

問題	解答欄
11	2
12	3
13	4・5
14	1
15	4
16	1
17	4
18	1
19	1
20	3

【精神保健福祉相談援助の基盤】

問題	解答欄
21	4
22	2
23	3
24	5
25	5
26	1
27	5
28	4
29	1
30	3

31	2
32	1・4
33	5
34	2
35	5

【精神保健福祉の理論】

問題	解答欄
36	5
37	3
38	4
39	4・5
40	2
41	4
42	2・3
43	2
44	3・4
45	3
46	3
47	2
48	5
49	5
50	1
51	2・5
52	4
53	3・4
54	5
55	1
56	5
57	2・3
58	2
59	4
60	1

【制度とサービス】

問題	解答欄
61	3・5
62	2
63	1

64	5
65	1
66	5
67	2・3
68	1
69	4
70	3
71	1
72	2

【生活支援システム】

問題	解答欄
73	3
74	2・4
75	5
76	2・3
77	5
78	1
79	1・4
80	3

この解答は「ふくし合格ネット」の独自見解によるもので、事前の予告なしに変更することがあります。

問題に関するお問合せはお受けしていませんので、予めご了承下さい。

第 36 回（第 26 回） 社会福祉士・精神保健福祉士国家試験講評

ふくし合格ネット 海老澤 浩史

◆全体として

1) 社会福祉士・精神保健福祉士 共通科目

今回の試験では、得点しづらい科目はあったものの、全体としてみると、解きやすい問題が多く、基本事項中心の問題構成であった。過去に出題されたことがある知識も多く出題されていたので、テンポよく問題に取り組めた方も多かったのではないだろうか。特に「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」は、どの問題も基本事項で対応可能であり、満点を取れた方も多かったことと思われる。逆に解きづらい問題が多かった科目は、「現代社会と福祉」と「地域福祉の理論と方法」である。出題されたことがない知識や統計が問われたり、細かい点まで問う問題、事例文と選択肢をいったりきたりすることで正答にたどり着けるような問題等があり、思ったよりも点が伸びなかった方もいたのではないかという印象である。近年難化傾向にあった「保健医療サービス」と「権利擁護と成年後見制度」については、今回の試験では基本事項を問う問題がほとんどだったので、高得点を取れた方も多かったことと思われる。

問題の出し方についても、「いつもと違う科目で知識が取り上げられる」、「いつもは最後に取り上げられる項目が最初に出題される」といったような、いつもと異なる出題傾向も見られていた。

五肢二択の問題は、全部で 8 問出題され、35 回と同様だった。内訳は、「現代社会と福祉」1 問、「地域福祉の理論と方法」2 問、「福祉行財政と福祉計画」1 問、「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」1 問、「低所得者に対する支援と生活保護制度」1 問、「保健医療サービス」1 問、「権利擁護と成年後見制度」1 問である。

今回の試験でも、例年と同様で、受験対策の参考書や過去問等の繰り返し学習を積み重ねてきた方は、安定して得点することができたのではないだろうか。基本事項を問う問題を確実に押さえていくことが、合格するためには重要である。

2) 社会福祉士 専門科目

共通科目に比べ、専門科目は事例問題が難しくなっているという印象であった。事例問題は、状況をイメージして解くような問題が多かったので、難しいと感じた方が多かったのではないだろうか。事例ではない問題については、基本事項を問うような問題が多く、共通科目と同様で解きやすかったものと思われる。特に「社会調査の基礎」、「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」、「就労支援サービス」は、基本事項を押さえておけば高得点が取れる科目であった。逆に解きづらい科目は「相談援助の基盤と専門職」、「相談援助の理論と方法」の相談援助系の科目ではないだろうか。連続的に事例問題が出題されてくると、集中力が切れて解答用紙に記入する手元も狂ってしまう。事例問題に慣れる力が、今後はもっと必要になるだろうと感じられた科目であった。難しい科目であまり得点できなかったとしても、取りやすい科目で高得点を取得することができれば、合格ラインに到達することは十分できる。

五肢二択の問題は、全部で 12 問出題され、34 回、35 回と同様であった。内訳は、「社会調査の基礎」2 問、「相談援助の基盤と専門職」3 問、「相談援助の理論と方法」3 問、「福祉サービスの組織と経営」2 問、「高齢者に対する支援と介護保険制度」2 問である。

今後は専門科目が難化してくるという方向性を感じる問題構成だったが、容易に解ける基本事項の問題も多かったので、参考書や過去問の繰り返し学習で、十分得点することはできたと思われる。

3) 精神保健福祉士 専門科目

全体として、今回の試験も基本事項を問う問題は多かったが、見慣れない用語等を問う問題や、出題率の低い項目から取り上げられる問題、用語の名称ではなく内容を問う問題等、難易度を上げるタイプの問題が例年よりも多めに配分されていたため、難しいと感じた方が多かったのではないかという印象である。

難易度が高いと感じた科目は、「精神保健の課題と支援」と「精神保健福祉の理論と相談援助の展開」である。どちらも問われたことがない用語や細かい点についてくる問題が多く、得点を伸ばすことが難しかったのではないと思われる。また、精神保健福祉士法の問題で、法改正施行前の問題が出題されていた。私が知る限りでは、施行前のことが問われたのは初めてである。今後は施行前の改正点も軽く把握しておいた方がいいかもしれない。

難しい問題も多めに取られていたが、基本事項となる問題を確実に得点に結びつけられているかが、合格するためには重要である。その点でいうと今回の試験も例年と変わっていない。難問は多くの人が解けないので合否にあまり関係ないが、基本事項は必ず得点したいところである。過去問や参考書等での繰り返し学習を中心に進めていた方は、合格ラインに乗せる得点に到達することができたのではないだろうか。

例年何問も出題される精神保健福祉法や障害者総合支援法からの問題は、今回の試験でも変わらず出題されていた。過去の出題実績から大事な項目を把握して重点的に押さえておくことは、今後の試験対策としても効果的な学習方法である。

五肢二択の問題は、全部で16問出題。25回の17問に比べると、やや問題数が減少した。24回では12問であったが、23回、22回では16問出題されているので、以前の問題数くらいに戻ったという傾向である。内訳は、「精神疾患とその治療」3問、「精神保健の課題と支援」1問、「精神保健福祉相談援助の基盤」1問、「精神保健福祉の理論と相談援助の展開」6問、「精神保健福祉に関する制度とサービス」2問、「精神障害者の生活支援システム」3問。

◆合格ライン

1) 社会福祉士

35回の時と同様、今回の試験でも共通科目の難易度を下げ、専門科目の難易度を上げるという構成だった。全体的には高得点を取れた方も多かったと思われるが、35回試験から30%位で合格者を絞ることもなくなっているため、合格ラインが異様に高くなることもないだろう。今回の試験は35回と同様、合格基準として示されている6割程度を目安にすると考えられることから、合格ラインは90点になると予想する。ただし、合格率が60%を超えるような場合は、90点を超え、逆に合格率が30%を下回るような場合は、80点台が合格ラインになることも考えられる。

専門科目のみについては、難易度がやや上がったことを踏まえ、合格ラインは40点と予想する。

2) 精神保健福祉士

精神保健福祉士の専門科目は、近年、年々合格ラインが上昇する傾向にあったが、今回は解きづらい問題の出題配分が多く、難易度が上がったのではないと思われる。共通科目は昨年と同様で、解きやすい問題が多かったため、全体としては25回の95点を下回り、合格ラインは94点と予想する。

専門科目のみについては、難易度が上がったことを踏まえ、合格ラインは45点と予想する。

以下、科目別の傾向等を示す。

◆科目別出題傾向

1) 社会福祉士・精神保健福祉士 共通科目

事例問題

共通科目では15問出題。34回、35回が11問だったため、大きく増加した。事例問題が出題された科目は、「人体の構造と機能及び疾病」1問、「地域福祉の理論と方法」4問、「社会保障」2問、「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」2問、「低所得者に対する支援と生活保護制度」3問、「保健医療サービス」2問、「権利擁護と成年後見制度」3問である。

〔各科目の出題項目と問題の難易度〕

■「人体の構造と機能及び疾病」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
身体の成長・発達	問題 1	○
老化	問題 7	△
国際障害分類（ICIDH）から 国際生活機能分類（ICF） への変遷	問題 2	△
疾病の概要	問題 4	○
障害の概要	問題 3・問題 5	○・○
精神疾患の診断・統計マニュアル（DSM）の概要	問題 6	○

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

■「心理学理論と心理学的支援」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
欲求・動機づけと行動	問題 11	○
感覚・知覚・認知	問題 8	○
学習・記憶・思考	問題 9・問題 10	○・○
ストレスとストレッサー	問題 12	○
心理検査の概要	問題 13	△
心理療法の概要と実際	問題 14	○

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

■「社会理論と社会システム」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
人口	問題 18	△
地域	問題 16	○
生活の捉え方	問題 19	○
社会関係と社会的孤立	問題 17・問題 20	×・○
社会的ジレンマ	問題 21	○
具体的な社会問題	問題 15	○

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

■「現代社会と福祉」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
福祉の原理をめぐる理論	問題 22・問題 28	△・○
産業社会と福祉	問題 23	○
需要とニーズの概念	問題 25	△
福祉政策と社会問題	問題 24・問題 26	△・○
福祉政策の現代的課題	問題 27	△
福祉政策における政府の役割	問題 30	○
福祉政策の手法と政策決定過程 と政策評価	問題 29	○
福祉政策と住宅政策	問題 31	○

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

■「地域福祉の理論と方法」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
地域福祉の対象	問題 33	△
社会福祉法	問題 34・問題 35	○・○
行政組織と民間組織の 役割と実際	問題 32・問題 36・問題 38	△・○・△
専門職や地域住民の 役割と実際	問題 37	○
地域におけるニーズの 把握方法と実際	問題 39	○
地域ケアシステムの 構築方法と実際	問題 40・問題 41	○・△

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

■「福祉行財政と福祉計画」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
都道府県・市町村の役割	問題 44	○
福祉の財源	問題 43	○
福祉行政における 組織及び団体の役割	問題 46	○
福祉行財政の動向	問題 45	○
福祉計画における 住民参加の意義	問題 48	△
福祉計画の種類	問題 42・問題 47	△・○

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

■「社会保障」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
人口動態の変化、少子高齢化	問題 49	○
社会保険制度・家族手当制度 の概要	問題 50・問題 54	○・○
社会保険制度の概要	問題 51・問題 52	○・△
年金保険制度の概要	問題 55	○
労災保険制度・雇用保険制度 の概要	問題 53	○

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

■「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
障害者福祉制度の発展過程	問題 57	○
障害者の法的定義 (中項目にはなし)	問題 56	○
障害者総合支援法の概要	問題 59・問題 60・問題 61	○・○・
相談支援専門員の役割	問題 58・問題 62	○・○

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

■「低所得者に対する支援と生活保護制度」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
生活保護法の概要	問題 63・問題 64・問題 65	○・○・○
都道府県の役割	問題 66	△
生活福祉資金の概要	問題 67	○
低所得者に対する 自立支援の実際	問題 68・問題 69	○・○

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

■「保健医療サービス」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
医療保険制度の概要	問題 70	○
医療費に関する政策動向	問題 71	○
診療報酬制度の概要	問題 72	△
医療施設の概要	問題 74	△
保健医療対策の概要	問題 73	○
医師、保健師、看護師等 との連携	問題 76	○
医療ソーシャルワーカーの役割	問題 75	○

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

■「権利擁護と成年後見制度」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
日本国憲法の基本原理の理解	問題 77	○
民法の理解	問題 78・問題 79	△・○
成年後見の概要	問題 80・問題 81	○・△
成年後見制度の最近の動向	問題 82・問題 83	○・○

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

2) 社会福祉士専門科目

事例問題

専門科目では20問出題。35回の17問より3問増加した。年々増加している。共通科目を含めても全35問の出題であり、35回(全28問)に比べて大幅に出題数が増加していた。事例問題が出題された科目は、「社会調査の基礎」1問、「相談援助の基盤と専門職」3問、「相談援助の理論と方法」7問、「福祉サービスの組織と経営」1問、「高齢者に対する支援と介護保険制度」3問、「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」2問、「就労支援サービス」1問、「更生保護制度」2問であった。

〔各科目の出題項目と問題の難易度〕

■「社会調査の基礎」

出題された項目

出題項目(中項目)	問題	難易度※
統計法の概要	問題 84	○
社会調査における倫理	問題 85	○
全数調査と標本調査	問題 86	○
自計式調査と他計式調査	問題 87	○
測定	問題 88	○
面接法	問題 89	○
質的調査のデータの整理と分析	問題 90	△

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

■「相談援助の基盤と専門職」

出題された項目

出題項目(中項目)	問題	難易度※
社会福祉士及び介護福祉士法	問題 91	○
ソーシャルワークに係る 各種の定義	問題 92	○
ソーシャルワークの形成過程	問題 95・問題 96	×・△
利用者本位	問題 94	△
福祉行政等における専門職	問題 92	△
倫理的ジレンマ	問題 96	△

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

■「相談援助の理論と方法」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
システム理論	問題 98	△
各種実践モデルとアプローチ	問題 99・問題 100・問題 101 問題 115	○・○・△ ○
事前評価（アセスメント）	問題 102	○
支援の計画（プランニング）	問題 103	○
経過観察（モニタリング） と評価	問題 104	○
アフターケア	問題 105	○
援助関係の形成方法	問題 106	△
相談援助のための面接技術	問題 118	○
ケースマネジメントと ケアマネジメント	問題 107	○
社会資源	問題 108	△
ネットワーキング		
集団を活用した相談援助	問題 109・問題 117	○・△
自助グループ		
スーパービジョン	問題 110	○
記録	問題 111	○
個人情報保護法	問題 112	△
事例分析	問題 113	△
相談援助の実際	問題 114・問題 116	△・○

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

■「福祉サービスの組織と経営」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
社会福祉法人制度	問題 119	○
経営に関する基礎理論	問題 120	○
集団の力学に関する基礎理論	問題 121	○
財源	問題 122	×
適切なサービス提供体制の確保	問題 123	△
働きやすい労働環境の整備	問題 124・問題 125	○・○

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

■「高齢者に対する支援と介護保険制度」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
高齢者の生活実態と これを取り巻く社会情勢	問題 126	△
高齢者福祉制度の発展過程	問題 127	○
介護の技法	問題 129	○
介護保険法の概要	問題 128・問題 130	○・○
介護保険法における国の役割	問題 131	○
サービス利用時における連携	問題 132	△
介護職員の役割	問題 133	○
地域包括支援センターの 活動の実際	問題 134	×
高齢者虐待防止法	問題 135	○

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

■「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
児童や家庭の生活実態と これを取り巻く社会情勢	問題 136	△
児童福祉法の概要	問題 137	○
母子保健法の概要	問題 138	○
児童扶養手当法の概要	問題 139	○
次世代育成支援対策推進法 の概要	問題 140	○
家庭裁判所の役割	問題 141	△
家庭支援専門相談員の役割	問題 142	○

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

■「就労支援サービス」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
障害者福祉施策における 就労支援制度	問題 143	○
障害者雇用施策の概要	問題 144	○
職業リハビリテーション機関の 役割と実際の活動	問題 146	○
ハローワークの役割と 活動の実際	問題 145	○

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

■「更生保護制度」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
仮釈放等	問題 147	△
保護観察	問題 150	△
保護司	問題 148	○
社会復帰調整官	問題 149	○

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

3) 精神保健福祉士専門科目

事例問題

36 問出題。昨年より 2 問多く出題されていた。今後も 35 問以上の出題数で考えておいてよいであろう。社会福祉士との違いは、長文の事例問題が出題されてくるため、集中して文章を読まない簡単な問題も落としてしまう可能性がある。過去問等の実際の問題を何度も解いて慣れておくことが重要である。

〔各科目の出題項目と問題の難易度〕

■「精神疾患とその治療」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
代表的な疾患	問題 1・問題 3・問題 4・問題 7	○・○・○・○
精神症状と状態像	問題 5・問題 6	△・△
精神疾患の治療（大項目）	問題 2	△
精神療法	問題 9	○
隔離、拘束のあり方	問題 10	△
治療への導入に向けた支援	問題 8	○

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

■「精神保健の課題と支援」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
ライフサイクルと精神の健康	問題 12	○
現代日本の学校教育と 生徒児童の特徴	問題 13	△
うつ病と過労自殺	問題 14	△
災害被災者、犯罪被害者の 精神保健	問題 18	×
災害時の精神保健に対する対策	問題 15	○
アルコール問題に対する対策	問題 16	×
薬物依存対策	問題 17	○
地域精神保健に係る行政機関の 役割及び連携	問題 20	○
WHOなどの国際機関の活動	問題 11・問題 19	×・×

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

■「精神保健福祉相談援助の基盤」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
社会福祉士法及び介護福祉士法	問題 21	○
社会的包摂	問題 32	△
ノーマライゼーション	問題 23	○
相談援助の対象及び 相談援助の基本的考え方	問題 22・問題 24・問題 25 問題 28・問題 30・問題 33 問題 34・問題 35	○・○・○ △・○・× ×・○
福祉行政・関連行政機関等に おける専門職	問題 26	○
相談援助における 権利擁護の概念と範囲	問題 27	△
総合的かつ包括的な援助の 意義と内容	問題 31	△
多職種連携の意義と内容	問題 29	○

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

■「精神保健福祉の理論と相談援助の展開」

出題項目（中項目）	問題	難易度※
諸外国の精神保健医療福祉の 歴史と動向	問題 36・問題 37	○・△
精神障害者支援の理念	問題 38	○
精神障害者の人権と尊厳	問題 39	△
精神科リハビリテーションの 構成と展開	問題 43	△
リハビリテーション計画	問題 40	×
精神科デイケア等	問題 41	○
チーム医療の概要	問題 42	△
代表的な実践モデル	問題 52	○
インテーク	問題 55	○
面接を効果的に行う方法	問題 44	○
個別支援の実際と事例分析	問題 49・問題 51・問題 53 問題 54・問題 56・問題 57	○・△・○ △・△・△
精神障害者と家族との関係	問題 45	○
家族支援の方法	問題 46	○
スーパービジョンの 意義、方法、展開	問題 47	○
コンサルテーションの 意義、方法、展開	問題 48	△
地域移行・地域定着の体制	問題 50	×
地域を基盤にした支援の 具体的展開	問題 58・問題 59・問題 60	○・○・△

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

■「精神保健福祉に関する制度とサービス」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
精神保健福祉法	問題 61・問題 70	△・○
障害者総合支援法における精神障害者の福祉サービスの実際	問題 71・問題 72	△・△
精神障害者を対象とした福祉施策・事業の実際	問題 64・問題 65	○・○
医療保険制度の意義と内容	問題 63	○
行政組織と民間組織の役割と実際	問題 62	○
司法の仕組みと医療福祉との連携	問題 66	△
保護観察所の役割と実際	問題 67	○
医療観察法の意義と内容	問題 68	○
質的調査の活用と方法	問題 69	×

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。

■「精神障害者の生活支援システム」

出題された項目

出題項目（中項目）	問題	難易度※
精神障害者の生活実態	問題 75	○
居住支援制度の概要	問題 73	○
就労支援制度の概要	問題 74	△
関係する組織、団体、専門職、自助組織等との連携	問題 78・問題 79・問題 80	○・○・△
生活支援の実際	問題 76	○
都道府県、保健所、精神保健福祉センター等における精神保健福祉士の機能と役割	問題 77	○

※ 難易度は、○が解きやすい、△がやや解きづらい、×が難しいとしています。一つの参考にして下さい。



ふくし合格
ネット